



Hino Advancement Center Newsletter

日野振興センターだより

平成30年12月発行 no.23

menu

【特集】

将来にわたって住み慣れた地域で
暮らし続けていくために

～「小さな拠点」づくり～

- 大山ワンダーフォーラム「日本の鉄文化・たたら歴史フォーラム」
&第16回 日野川源流米コンテスト
- 農林水産業者・緑化功労者 表彰
- しいたけシーズン到来!! ○放置竹林を活用しましょう!
- 日野郡で輝く人「遊四季多里」 ○農業用パイプハウスの雪害対策について
- 積雪シーズン到来! ～除雪作業に御協力をお願いいたします～

将来にわたって住み慣れた地域で暮らし続けていくために

～「小さな拠点」づくり～

1 地域づくりの取組

中山間地域では人口減少等による過疎化の進行により、次のような地域で暮らし続けるにあたって不便を感じることや困りが増えています。

- 集落や地域等から商店がなくなった
- 運転免許の自主返納により移動が不便になった
- 集落総出で行っていた水路等の維持管理が難しくなった
- 耕作放棄地が増えイノシシ等による農作物の被害が増加した

このような状況の中、地域に住んでおられる方々それぞれが感じている困りごとを話し合いによって共有し、地域住民が自ら主体となって、住み慣れた地域で暮らし続けていくために必要なことを考えて解決していく地域づくりの取組の一つとして「小さな拠点」があります。



中山間地域では人口減少等による過疎化の進行により、次のような地域で暮らし続けるにあたって不便を感じることや困りが増えています。

① 日南町多里地区

地域課題を意識しつつも将来への展開が見出せないという地域住民の声をきっかけに、平成28年7月から地域づくりのためのワークショップを開催して、「今のまま続けていきたいこと」、「困っていること」、「試したいこと」等、思い思いに意見を出し合うことから始め、他人事ではなく自分たちが具体的に取組む内容をまとめました。

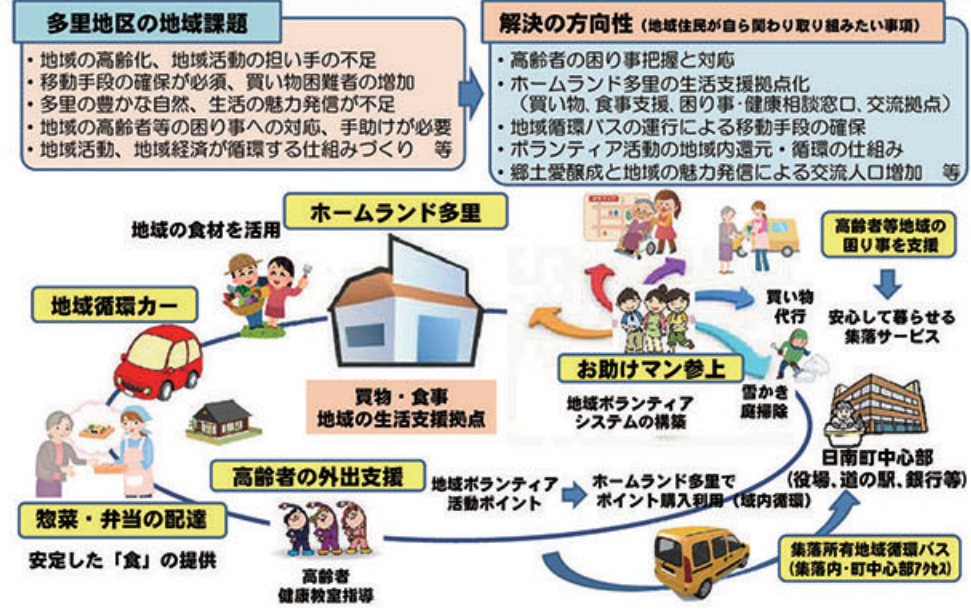
多里地区では日本財団鳥取助成プログラムによる支援を受けて、地域の生活拠点施設でもある「ホームランド多里」を改修して、買い物支援や配食機能等を拡充するとともに、地域循環カーの運行により高齢者等の外出支援を行い地域コミュニティへの参加促進を図る取組や雪かき、庭掃除、布団干しなど高齢者等の困りごとを地域ボランティアが支える仕組みづくりなどを進めています。

2 日野郡内での取組事例

住み慣れた地域で生活していくために、郡内でも地域のみなさんで将来を考えながら次のような取組を進めています。

住民共助による地域交通と食の確保

～日南町多里地区 中山間地域の生活支援モデル～



日南町多里地区 取組イメージ

3 住み慣れた地域で暮らし続けるために

住み慣れた地域で暮らし続けるために

これらの取組を進めるきっかけは、「食料品店が地域からなくなった」というような、これまで集落に当たり前のようであった生活サービスがなくなってきた時などですが、まずは自分たちが住んでいる地域がどのような状況であるかの「気づき」が重要です。10年後、20年後に抱える問題を地域のみなさんで考え共有することも必要でしょう。

全国の過疎地域でも、住民同士が話し合っ て自らスーパーの運営に乗り出したり、住民同士の交流を盛んにするために、地元で作られた農産物などを使った料理を提供するカフェを住民自らオープンするなど、様々な活動が生まれてきています。みなさんも、この日野郡で地域の暮らしを守るために、小さな拠点づくりについて考えてみませんか。

日南町役場 企画課 電話:0859-82-1115
 日野町役場 企画政策課 電話:0859-72-0332
 江府町役場 総務課 電話:0859-75-2211

話し合いの進め方やポイントなどに関する相談は、右記の相談先にお問い合わせください

② 江府町侯野地区

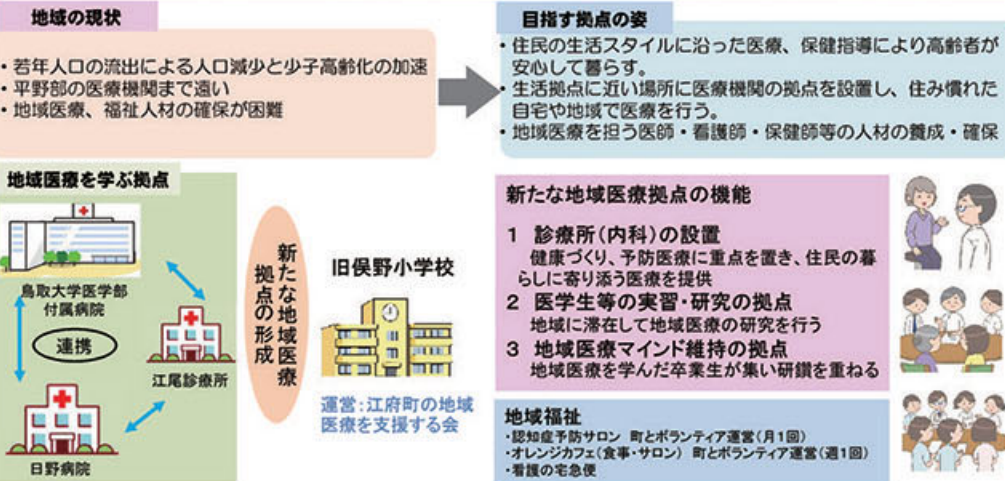
医療機関から離れた地域で生活する住民の方々は、受診する場合、わざわざまちなかまで出かけて行かないといけません。高齢者の方が地域で安心して暮らすために、集落から近い診療所の開設や、地元に着着した医療人材の育成を住民のみなさんが望んでいます。

侯野地区では、高齢者が住む山間地域の医療を守り、未来に繋ぐ地域医療人材育成モデルの構築を目指し、日本財団鳥取助成プログラムによる支援を受けて、廃校となった侯野小学校の校舎を拠点として、健康づくりと予防医療に重点を置いた診療所の設置と、地域医療に携わる医師、看護師、保健師等の育成機能を持たせるといった取組を進めています。

江府町侯野地区 取組イメージ

医療機関と連携した健康と安心のまち・地域に根ざす人材を育てるまち

～高齢者が住む山間地域の医療を守り、未来に繋ぐ地域医療人材育成モデルの構築～



地域住民の生活を把握しながら、保健・医療・福祉・介護と連携を図る地域医療を実現する。

地域医療マインドを持った総合診療医の育成と維持を図る。

農林水産業者・緑化功労者 表彰

本年度、日野郡から表彰を受けられたのは、次の方々です。
 一人おひとりの力が、ふるさとを守り、
 なりわいが未来に続く源となっています。
 感謝の気持ちとあわせ、今後のますますのご活躍を期待します。

全国優良経営体表彰

意欲と能力のある担い手の経営発展を図るため、農林水産省経営局長等が表彰するものです。今年は県代表として㈱エイトが推薦され受章、11月8日、全国担い手サミット(山形県)で表彰式典が行われました。



全国担い手育成総合支援協議会長賞
 ㈱エイト(日南町阿毘緑)



㈱エイトのみなさん

水稲+トマトを農業経営の柱とし、冬場は除雪作業を受託。目標達成に向けて着実に取り組むことがモットーです。毎日細やかな生育管理を心掛け、特にトマトは、町内でもトップクラスの収量、販売額をあげています。近隣の法人と労力補完されており、こうした創意工夫が新しい仕組みにつながるものと期待されます。

中国・四国地区緑化功労者表彰

緑化推進に功績があった方を中国・四国地区緑化推進協議会が表彰するものです。11月8日、日野振興センター所長から表彰状を伝達しました。個人では日野郡から17年ぶりの表彰となりました。



つぼくら さとし
 坪倉 敏氏(日野町中菅)



坪倉敏氏(右)と越智所長(左)

環境省自然公園指導員、鳥取県自然保護監視員を務め、とっとり森づくりサポーターにも登録、自然や森林を守る活動にも積極的に協力されています。小学生や住民を対象とした森林学習会の講師のほか、長年、林業後継者への技術指導にも携わり、分かりやすい解説には定評があります。

鳥取県優秀経営農林水産業者等表彰 ~日野郡から2名~

10月10日、平成30年度表彰式典が知事公邸で行われ、6部門で41経営体・組織が表彰されました。



おおはたしゅん そう
 大畑 俊三氏(日南町湯河)



農林水産功労者
 大畑俊三氏表彰式

(農)多里生産組合のリーダーとして地域の農地を集積、水稲、トマト、ピーマン、林業の複合経営に取り組まれています。農林業研修生を受け入れ、雇用や就業に至るまで細やかに世話をされるなか、次世代の担い手育成にも貢献されました。また、特産物加工直売施設「ホームランド多里」の運営にも尽力し、移住定住や6次産業化の先駆的な存在となっています。



ばばひろまさ
 馬場 弘政氏(日南町茶屋)



日南町の農業研修修了後、平成23年4月に1ターン(福岡県出身)で就農。トマトの施肥管理や灌水調整の技術を習得されるとともに、新品種りんか409の導入により、平成29年は町内2位の単収をあげました。また、JA鳥取西部日南トマト生産部副部長として、産地の活性化にも取り組んでいます。

日野振興局 農業振興室 電話:0859-72-2004 FAX:0859-72-2011

蜜蜂を飼育される方への

お知らせ

蜜蜂を飼育される方(趣味の養蜂を含む。)は、養蜂振興法により「蜜蜂飼育届」(1月1日~12月31日の飼育計画)をその年の1月31日までに県知事に毎年提出する必要があります。日野郡にお住まいの方は日野振興センターが提出先となりますので、手続き等についてご不明な点がございましたら、問合せ先にご確認ください。

日野振興局 農業振興室 電話:0859-72-2005 FAX:0859-72-2011

大山ワンダーフォーラム

「日本の鉄文化・たたらへの歴史フォーラム」 &第16回 日野川源流米コンテスト

平成30年10月20日・21日、大山開山1300年祭の集大成として、クライマックスイベント「大山ワンダーフォーラム」が開催され、併催された「農と食のフェスタinせいぶ」とあわせて、県内外から約8万人の方が来場されました。米子市公会堂が会場となった「日本の鉄文化・たたらへの歴史フォーラム」では、日野郡の地域資源であるたたらに関する事例発表や刀剣に関するシンポジウムが行われました。

また、日野郡3町はPRブースを設け、ARアプリを活用したたたら場の再現や名刀展のパネル展示など、それぞれ工夫を凝らした情報発信を行い、日野郡の魅力を多くの来場者に届けました。



『全国たたらサミット』
 たたらをテーマに地域活性化に取り組む全国6団体が各地域事例発表を行い、日野郡からは「伯耆国たたら顕彰会」が、ふいご祭、史跡研究などについて発表しました。

『大山山麓の歴史・刀剣シンポジウム』 高橋英樹氏×井沢元彦氏対談「日本刀はここから始まった!」



地元で生産された質の高い鋼から数々の名刀が生まれたことを対談で絶賛。高橋氏は自己所有の模造刀で殺陣を披露。時代劇のセリフ、撮影秘話をトークに織り交ぜ、詰めかけたファンを喜ばせました。



オープニングアトラクション
 日南神楽神社が、「神能八重垣(しんのうやえがき)の舞」より「大蛇退治(おろちたいじ)」を上演しました。ダイナミックな伝統の舞に、観客は魅了されました。



『ミニたたら操業』
 伯耆国たたら顕彰会が、ミニたたら操業を行い、多くのたたらファンが詰めかけ、砂鉄投入体験やケラ出しなどを楽しみました。



『ペーパーナイフづくり体験』
 「鍛冶工房 宮光」のブースは、ナイフを作る来場者で大賑わいでした。



第16回 日野川源流米コンテスト (第5回 農と食のフェスタ in せいぶ)

米子駅前周辺で開催された第5回農と食のフェスタ in せいぶの会場(米子コンベンションセンター)では日野川源流米コンテストが行われ、予備審査により厳選された米を来場者200名が実食し、投票の結果日野町の(株)優裁が最優秀賞に選ばれました。

地元にある魅力的なもので、日南町全体を輝かせたい

「遊四季多里」

代表 新田 浩志さん（鳥取県日野郡日南町多里 多里地域振興センター内）



多里層の化石採集・標本づくり体験会 (H30年9月)

日南町多里の「遊四季多里」は、地域振興をテーマとした日本財団主催のワークショップをきっかけとして平成29年1月に設立され、「地元の自然が好きな人を集めて、楽しいと思うことをしよう。」という活動のコンセプトのもと、現在5名のメンバーが活躍しています。

多里で生まれ育った新田代表は、「自分たちが主役なのではなく、星空、化石、オオサンショウウオなど、元々地元にある魅力的なものをイベントを通じ発信し、たくさんの方に日南町に来ていただくことが自分たちの役割です。」さらに、「将来的には、泊・食など、町民全体が何らかの形で観光に携わっていただけたらよいと考えています。」と抱負を語っていただきました。



夏の星空とキッズサポーター発表会 (H29年8月)

平成29年5月に開催した「星取県で木星をゲットしよう」には町内外から100名以上の参加者が集まるなど、日南町の魅力を県内外にアピールすることで地域振興に一役買っています。

関日野振興局 地域振興課 電話:0859-72-2086 FAX:0859-72-2072



ハウス雪害(被覆なし)
※パイプに雪が乗ることもあり、要注意。



ハウス雪害(被覆あり)

雪害の原因

- ①骨材…経年劣化によるゆがみや、補強部材の不足によるハウスの強度不足
- ②被覆材…フィルムの汚れ、たるみ等による雪の落下不足
- ③雪質…湿った雪や降雪後の雨による加重の増大

有効な対策(①～③は事前、④⑤は降雪時の対策)

- ①被覆の取り外し…冬期に使用しない場合に実施。最も有効な対策。
- ②ハウスの補強…タイバー(梁)、筋交いの取り付け、突き上げ支柱の設置(間隔は2m以内)。
- ③雪の落下促進…被覆やハウスバンドのたるみ修正、遮光ネットの除去、ハウスの密閉。
- ④除雪、片づけ…ハウス周囲はもちろん、ハウスへの道路の確保も必要。
- ⑤雪落とし…雪質、降雪量、ハウス構造によっては被覆が無くても骨材に雪が乗ることがある。その場合は、早めに必ずハウスの外側で雪を落とす。
※降雪時の対策は、身の安全の確保を第一とし、万が一の事態に備えて複数人で行う。

関日野振興局 日野農業改良普及所 電話:0859-72-2026 FAX:0859-72-2090

しいたけシーズン到来!!

しいたけのおいしい季節がやってきました!
そこで今回は、より多くの方にしいたけシーズンを楽しんでいただくため、しいたけ生産に取り組みしている西部地区椎茸生産組合連合会会長 上谷春氏(日野町久住)にお話を聞きました。



上谷 春氏
西部地区椎茸生産組合連合会会長。平成30年第51回全農乾椎茸品評会において林野庁長官賞を受賞。ほだ木9,000本、乾しいたけ年間生産量250kg(乾重量)

「日野郡のしいたけ生産については、近年、日野町内で4人の方が生しいたけ用のハウスを導入し、生しいたけにも力を入れており、その中で肉厚な鳥取茸王にも力を入れております。
しいたけ生産は、秋の適切な時期に伐採や植菌等を行わなければならず、少しでも怠けるとしいたけが発生しなくなるため、とても難しい作業です。それでもしいたけの芽が発生し、徐々に大きく成長する姿は見ていても楽しく、これらの難しい作業も苦になりません。これがしいたけ生産の魅力だと思います。
しいたけ生産者一同、丹精を込めてしいたけを栽培しています。どうぞこの機会に体にも良いしいたけをお楽しみください。」

鳥取県では、原木しいたけ「とっとり115」の魅力を実感していただくため、毎年1月15日から2月15日までの1か月間、「とっとり115フェア」を県内の飲食店等とタイアップして開催されます。みなさんも是非、おいしいしいたけをこの機会にご賞味ください!

しいたけ豆知識



【とっとり115】
「菌興115号」を用いて鳥取県で原木栽培し、傘径・厚さ等の規格を満たした生しいたけです。
【鳥取茸王】
とっとり115の中からさらに厳しい規格を満たしたブランド生しいたけです。

関日野振興局 農林業振興課 電話:0859-72-2018 FAX:0859-72-2125

放置竹林を活用しましょう!!

近年、竹が隣接するスギやヒノキ等の成長を阻害したり、道路沿いの竹林では交通の支障となるなどの問題から、竹林の整備の必要性が高まっています。日野郡においては、「竹林の拡大を防ぐためには、駆除が必要。」というご意見を伺うこともあります。とは言え、竹も資源! 竹林を整備して、竹林を活用してみたいかがでしょう。



中部とっとりタケノコ振興会の活動状況

湯梨浜町を中心とした県中部地域では、放置竹林を整備・管理して、タケノコを採取する取組が行われています。

取組を行っているのは、タケノコの生産者・食品加工業者等が連携して平成24年に設立した「中部とっとりタケノコ振興会」です。タケノコ栽培に適した竹林の整備を行い、水煮加工したタケノコを学校給食等へ出荷しています。会員の中には、振興会の取組に加え、個人で直売所に出荷されることもあるようです。

普通のタケノコに比べ収穫の簡単な「穂先タケノコ」(普通のタケノコより、柔らかく風味があり、歯切れが良いとの評判です)も活用されています。この穂先タケノコ…取った後の竹は枯れるため、竹林の拡大防止にも繋がります。
皆さんの地域でも、取組を始めてみませんか。



大きく育ったタケノコの上部を活用する穂先タケノコ

関日野振興局 農林業振興課 電話:0859-72-2021 FAX:0859-72-2125

積雪シーズン到来!



～除雪作業に御協力をお願いいたします～

いよいよ本格的な積雪シーズンを迎えます。住民の皆様安心して通行していただけるよう、日野振興センターと日野郡3町は、平成23年度から連携して国道及び県道の除雪や凍結防止剤散布を実施しています。

除雪作業は厳しい自然環境の中で、深夜から早朝にかけて短時間で実施する必要があり、住民の皆様にご迷惑をお掛けすることもあります。御理解・御協力をよろしくお願いいたします。

皆様へのお願い



- ◆ 路上駐車は絶対にしないでください。(除雪作業の妨げになります。)
- ◆ 道路上に雪を捨てないでください。(交通の妨げになるほか、夜間の路面凍結の原因になります。)
- ◆ 大雪の時には除雪作業が遅れる場合がありますが、御理解をお願いします。
- ◆ 除雪車の作業によりふさいだ出入口等の雪かきは、皆様でお願いします。

道路状況の確認については、「とっとり雪みちNavi」を御利用ください。



とっとり雪みちNavi

パソコンから <http://yukinavi.net/>
携帯電話から <http://yukinavi.net/i/>

● カメラ設置場所



クリック



とっとり雪みちNavi

鳥取県雪道情報提供システム

四十曲峠(国道181号)

ライブカメラ画像

日野方面



岡山方面

観測日時	
路上温度(°C)	〇〇
路上積雪深(cm)	〇〇

※「とっとり雪みちNavi」表示イメージです。

日野地区 除雪車両出発式

平成30年11月20日(火)、鳥取県本郷車両基地において、根雨小学校1・2年生の児童10名が出席し、除雪車両出発式を開催しました。

児童たちは、「除雪車の近くで遊ばないこと。」など安全上の注意を聞いたり、実際に除雪車の運転席に乗ってみるなどの体験を通じて、除雪作業への理解を深めました。



除雪に関するお問い合わせは、下記の窓口へ御連絡をお願いします。



日野振興センター	
日野県土整備局 維持管理課	電話0859-72-2048 (休日・夜間は 電話0859-72-0321)
日南町 建設課	電話0859-82-1113
日野町 建設水道課	電話0859-72-0350
江府町 建設課	電話0859-75-3306



表紙写真について

タイトル:「夕陽に染まる冬の大山」

撮影者:山根 康雄氏(江府町)

撮影者コメント:若いころから風景写真を撮ることが好きで、秋の紅葉や滝などの風景を撮ることが多く、大山もたくさん撮ってきました。冬の大山は雲がかかったり、天候が定まりにくいので、夕陽に染まる大山を写すのは非常に難しく、自宅から大山を眺めて今日しかないと思い、撮影したところ納得のいく作品が撮影できました。